

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間（2014年1月24日～2024年1月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	資産成長コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	資産成長コース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	通貨αコース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド （資産成長コース／通貨αコース）

運用報告書（全体版）

資産成長コース	第10期（決算日 2019年1月17日）
	第54期（決算日 2018年8月17日）
	第55期（決算日 2018年9月18日）
通貨αコース	第56期（決算日 2018年10月17日）
	第57期（決算日 2018年11月19日）
	第58期（決算日 2018年12月17日）
	第59期（決算日 2019年1月17日）
（作成対象期間 2018年7月18日～2019年1月17日）	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

〔資産成長コース〕は、新興国の現地通貨建債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざし、〔通貨αコース〕は、新興国の現地通貨建債券への分散投資とオプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5620>
<5621>

資産成長コース

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
6期末(2017年1月17日)	9,509	10	3.1	9,993	3.7	0.0	99.7	1,523
7期末(2017年7月18日)	10,101	10	6.3	10,979	9.9	—	98.9	1,346
8期末(2018年1月17日)	10,297	10	2.0	11,398	3.8	—	99.3	1,154
9期末(2018年7月17日)	9,626	10	△ 6.4	10,701	△ 6.1	—	99.0	897
10期末(2019年1月17日)	9,421	10	△ 2.0	10,559	△ 1.3	—	99.1	824

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

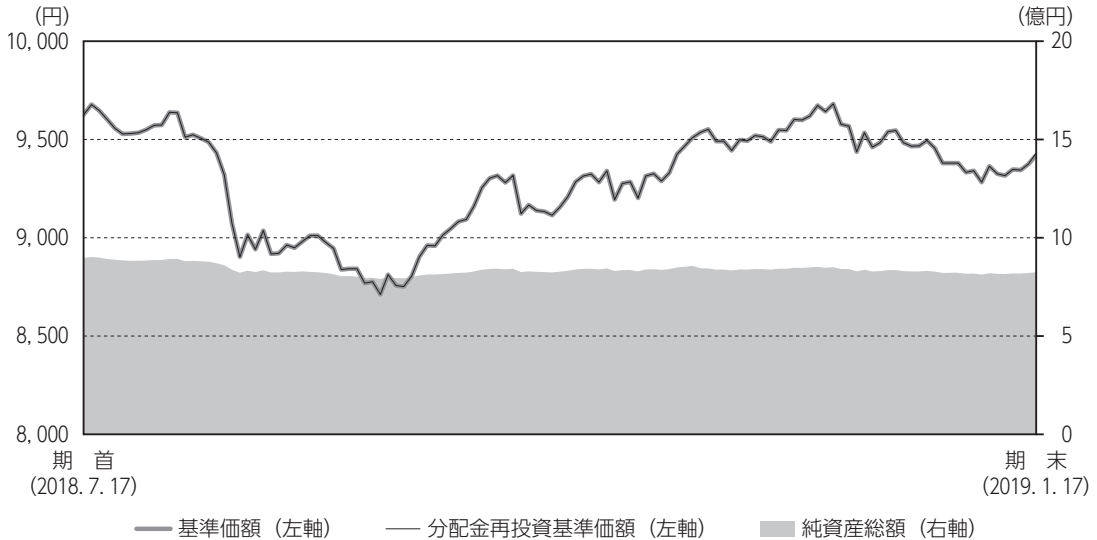
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,626円

期末：9,421円（分配金10円）

騰落率：△2.0%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

債券の利息収入や債券価格の上昇がプラス要因となりましたが、投資している通貨が円に対して下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

年 月 日	基 準 価 額		J.P.モルガン GBI-EEM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首) 2018年 7月17日	9,626	—	10,701	—	—	99.0
7月末	9,574	△ 0.5	10,661	△ 0.4	—	99.4
8月末	8,838	△ 8.2	9,974	△ 6.8	—	99.1
9月末	9,255	△ 3.9	10,489	△ 2.0	—	99.3
10月末	9,326	△ 3.1	10,311	△ 3.7	—	99.8
11月末	9,673	0.5	10,623	△ 0.7	—	99.1
12月末	9,333	△ 3.0	10,397	△ 2.8	—	99.9
(期末) 2019年 1月17日	9,431	△ 2.0	10,559	△ 1.3	—	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 7. 18 ~ 2019. 1. 17)

新興国債券市況

新興国債券市場は、個別国の材料に加えて、米国の金利低下や世界的な株価の下落などの影響を受ける展開となりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、米国との関係悪化懸念が高まり金利が上昇する局面がありましたが、中央銀行が大幅な利上げを行ったことや、米国との関係悪化懸念が後退したことに伴い、金利は低下しました。南アフリカでは、インフレ率の低下などから短期の金利は低下しました。ロシアでは、原油価格の下落などにより金利は上昇しました。

・アジア地域

インドネシアやフィリピンでは、世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことで、金利は上昇しました。インドでは、原油価格の下落によって経常赤字の縮小期待が高まったことなどから、金利は低下しました。

・中南米地域

ブラジルでは、大統領選挙で経済政策について市場から高い評価を得ているボルソナロ氏が勝利したことなどから、金利は低下しました。メキシコでは、2018年10月下旬に新空港建設中止が発表されたことをきっかけに政治的不透明感が高まったことなどから、金利は上昇しました。ペルーでは、世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどから、金利は上昇しました。

為替相場

投資対象通貨の対円為替相場は、個別国要因に加えて、トルコ・リラの急落を背景とした新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落の影響を受ける展開となりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、米国との関係悪化懸念が高まり対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどにより、対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、原油価格の下落などから対円で下落しました。

・アジア地域

インドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピーは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことで、対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・リアルやペルー・ソルは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことで、対円で下落しました。メキシコ・ペソは、新空港建設の中止の発表などから対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

（2018. 7. 18 ~ 2019. 1. 17）

■当ファンド

当作成期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域ではトルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブルに、アジア地域においては、インドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピーに、中南米地域ではブラジル・リアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルにそれぞれ投資を行いました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。

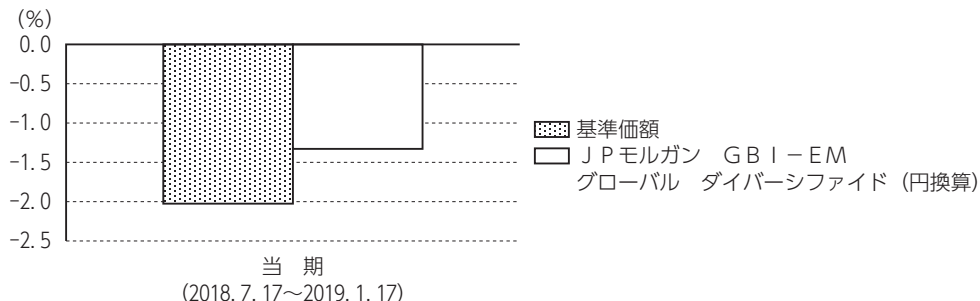
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年7月18日 ～2019年1月17日	
当期分配金（税込み）	(円)	10
対基準価額比率	(%)	0.11
当期の収益	(円)	10
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,314

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 360.74円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	52.42
(d) 分配準備積立金	2,910.98
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,324.14
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,314.14

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 7. 18～2019. 1. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	54円	0. 585%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 298円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0. 163)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0. 408)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	55	0. 589	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年7月18日から2019年1月17日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 511.0753	千円 37,347	千口 780.11411	千円 57,400

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年7月18日から2019年1月17日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円	EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)	千口 780.11411	千円 57,400	円 73

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS	千口 11,221.8396	千円 817,017	% 99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 33	千口 33	千円 34

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年1月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 817,017	% 98.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	34	0.0
コール・ローン等、その他	13,472	1.6
投資信託財産総額	830,523	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年1月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	830,523,765円
コール・ローン等	13,472,217
投資信託受益証券（評価額）	817,017,253
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	34,295
(B) 負債	5,802,735
未払収益分配金	875,429
未払信託報酬	4,893,207
その他未払費用	34,099
(C) 純資産総額（A－B）	824,721,030
元本	875,429,934
次期繰越損益金	△ 50,708,904
(D) 受益権総口数	875,429,934口
1万口当り基準価額（C/D）	9,421円

* 期首における元本額は931,908,159円、当作成期間中における追加設定元本額は1,026,651円、同解約元本額は57,504,876円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,421円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は50,708,904円です。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	31,580,630円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	4,589,178
(d) 分配準備積立金	254,836,006
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	291,005,814
(f) 分配金	875,429
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	290,130,385
(h) 受益権総口数	875,429,934口

■損益の状況

当期 自 2018年7月18日 至 2019年1月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	36,508,179円
受取配当金	36,510,482
支払利息	△ 2,303
(B) 有価証券売買損益	△ 48,625,299
売買益	2,493,517
売買損	△ 51,118,816
(C) 信託報酬等	△ 4,927,549
(D) 当期損益金（A + B + C）	△ 17,044,669
(E) 前期繰越損益金	△ 35,458,807
(F) 追加信託差損益金	2,670,001
(配当等相当額)	(4,589,178)
(売買損益相当額)	(△ 1,919,177)
(G) 合計（D + E + F）	△ 49,833,475
(H) 収益分配金	△ 875,429
次期繰越損益金（G + H）	△ 50,708,904
追加信託差損益金	2,670,001
(配当等相当額)	(4,589,178)
(売買損益相当額)	(△ 1,919,177)
分配準備積立金	285,541,207
繰越損益金	△ 338,920,112

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配	騰落 率	(参考指数)	騰落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
30期末(2016年8月17日)	6,763	80	△ 1.5	9,454	△ 1.9	1.0	96.2	6,215
31期末(2016年9月20日)	6,609	80	△ 1.1	9,353	△ 1.1	0.1	96.2	5,826
32期末(2016年10月17日)	6,674	80	2.2	9,589	2.5	0.2	95.9	5,566
33期末(2016年11月17日)	6,578	80	△ 0.2	9,357	△ 2.4	1.1	95.9	5,221
34期末(2016年12月19日)	6,805	80	4.7	10,103	8.0	0.3	95.6	5,127
35期末(2017年1月17日)	6,658	80	△ 1.0	9,993	△ 1.1	0.0	99.8	4,886
36期末(2017年2月17日)	6,703	80	1.9	10,316	3.2	0.0	99.6	4,827
37期末(2017年3月17日)	6,691	80	1.0	10,474	1.5	0.0	99.6	4,690
38期末(2017年4月17日)	6,477	80	△ 2.0	10,120	△ 3.4	0.0	99.5	4,320
39期末(2017年5月17日)	6,661	80	4.1	10,803	6.7	0.0	99.3	4,295
40期末(2017年6月19日)	6,498	80	△ 1.2	10,752	△ 0.5	0.0	98.0	3,989
41期末(2017年7月18日)	6,533	80	1.8	10,979	2.1	—	98.0	3,825
42期末(2017年8月17日)	6,422	80	△ 0.5	10,841	△ 1.3	—	98.7	3,659
43期末(2017年9月19日)	6,437	80	1.5	11,249	3.8	—	98.9	3,531
44期末(2017年10月17日)	6,304	80	△ 0.8	11,158	△ 0.8	—	98.9	3,314
45期末(2017年11月17日)	6,135	80	△ 1.4	10,933	△ 2.0	—	99.1	3,139
46期末(2017年12月18日)	6,141	80	1.4	11,103	1.6	—	98.8	3,033
47期末(2018年1月17日)	6,141	80	1.3	11,398	2.7	—	98.6	2,986
48期末(2018年2月19日)	5,923	80	△ 2.2	11,177	△ 1.9	—	99.5	2,811
49期末(2018年3月19日)	5,792	55	△ 1.3	10,986	△ 1.7	—	99.7	2,728
50期末(2018年4月17日)	5,729	55	△ 0.1	11,158	1.6	—	99.6	2,593
51期末(2018年5月17日)	5,589	55	△ 1.5	10,784	△ 3.4	—	99.2	2,484
52期末(2018年6月18日)	5,379	55	△ 2.8	10,406	△ 3.5	—	99.0	2,340
53期末(2018年7月17日)	5,401	55	1.4	10,701	2.8	—	99.2	2,308
54期末(2018年8月17日)	5,055	55	△ 5.4	10,084	△ 5.8	—	99.1	2,142
55期末(2018年9月18日)	4,927	55	△ 1.4	10,064	△ 0.2	—	99.3	2,049
56期末(2018年10月17日)	5,000	55	2.6	10,415	3.5	—	99.2	2,032
57期末(2018年11月19日)	5,064	40	2.1	10,467	0.5	—	99.1	2,012
58期末(2018年12月17日)	5,007	40	△ 0.3	10,494	0.3	—	99.2	1,952
59期末(2019年1月17日)	4,952	40	△ 0.3	10,559	0.6	—	99.0	1,898

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

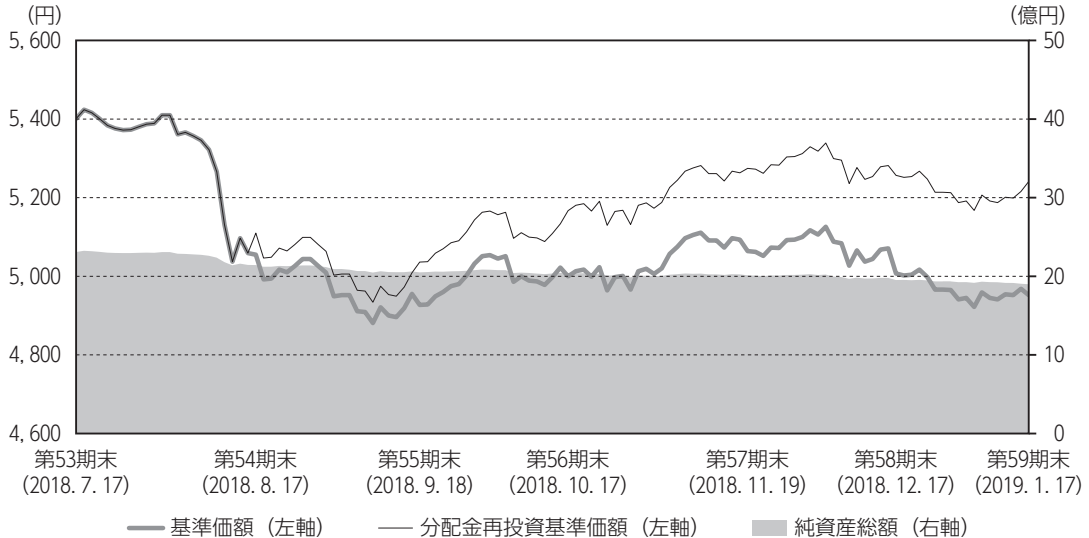
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第54期首：5,401円

第59期末：4,952円（既払分配金285円）

騰落率：△3.0%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

通貨オプション取引によるプレミアム収入、債券の利息収入、債券価格の上昇がプラス要因となりましたが、投資している通貨が円に対して下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
		円	%		%	%	%
第54期	(期首)2018年7月17日	5,401	—	10,701	—	—	99.2
	7月末	5,389	△ 0.2	10,661	△ 0.4	—	99.4
	(期末)2018年8月17日	5,110	△ 5.4	10,084	△ 5.8	—	99.1
第55期	(期首)2018年8月17日	5,055	—	10,084	—	—	99.1
	8月末	4,949	△ 2.1	9,974	△ 1.1	—	99.0
	(期末)2018年9月18日	4,982	△ 1.4	10,064	△ 0.2	—	99.3
第56期	(期首)2018年9月18日	4,927	—	10,064	—	—	99.3
	9月末	5,032	2.1	10,489	4.2	—	99.2
	(期末)2018年10月17日	5,055	2.6	10,415	3.5	—	99.2
第57期	(期首)2018年10月17日	5,000	—	10,415	—	—	99.2
	10月末	5,019	0.4	10,311	△ 1.0	—	99.0
	(期末)2018年11月19日	5,104	2.1	10,467	0.5	—	99.1
第58期	(期首)2018年11月19日	5,064	—	10,467	—	—	99.1
	11月末	5,117	1.0	10,623	1.5	—	98.7
	(期末)2018年12月17日	5,047	△ 0.3	10,494	0.3	—	99.2
第59期	(期首)2018年12月17日	5,007	—	10,494	—	—	99.2
	12月末	4,941	△ 1.3	10,397	△ 0.9	—	99.1
	(期末)2019年1月17日	4,992	△ 0.3	10,559	0.6	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 7. 18 ~ 2019. 1. 17)

■新興国債券市況

新興国債券市場は、個別国の材料に加えて、米国の金利低下や世界的な株価の下落などの影響を受ける展開となりました。

- ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、米国との関係悪化懸念が高まり金利が上昇する局面がありましたが、中央銀行が大幅な利上げを行ったことや、米国との関係悪化懸念が後退したことに伴い、金利は低下しました。南アフリカでは、インフレ率の低下などから短期の金利は低下しました。ロシアでは、原油価格の下落などにより金利は上昇しました。

- ・ アジア地域

インドネシアやフィリピンでは、世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことで、金利は上昇しました。インドでは、原油価格の下落によって経常赤字の縮小期待が高まったことなどから、金利は低下しました。

- ・ 中南米地域

ブラジルでは、大統領選挙で経済政策について市場から高い評価を得ているボルソナロ氏が勝利したことなどから、金利は低下しました。メキシコでは、2018年10月下旬に新空港建設中止が発表されたことをきっかけに政治的不透明感が高まったことなどから、金利は上昇しました。ペルーでは、世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどから、金利は上昇しました。

■為替相場

投資対象通貨の対円為替相場は、個別国要因に加えて、トルコ・リラの急落を背景とした新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落の影響を受ける展開となりました。

- ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、米国との関係悪化懸念が高まり対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことなどにより、対円で下落しました。ロシア・ルーブルは、原油価格の下落などから対円で下落しました。

- ・ アジア地域

インドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピーは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことで、対円で下落しました。

・中南米地域

ブラジル・リアルやペルー・ソルは、新興国市場への懸念の影響や世界的な株価の下落など市場のリスク回避的な姿勢が強まったことで、対円で下落しました。メキシコ・ペソは、新空港建設の中止の発表などから対円で下落しました。

■為替ボラティリティ相場

新興国通貨の対円ボラティリティは、おおむね上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

（2018. 7. 18 ~ 2019. 1. 17）

■当ファンド

当作成期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（通貨 α クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨 α クラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域ではトルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブルに、アジア地域においては、インドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、インド・ルピーに、中南米地域ではブラジル・リアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルにそれぞれ投資を行いました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。
- ・通貨カバードコール戦略（新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

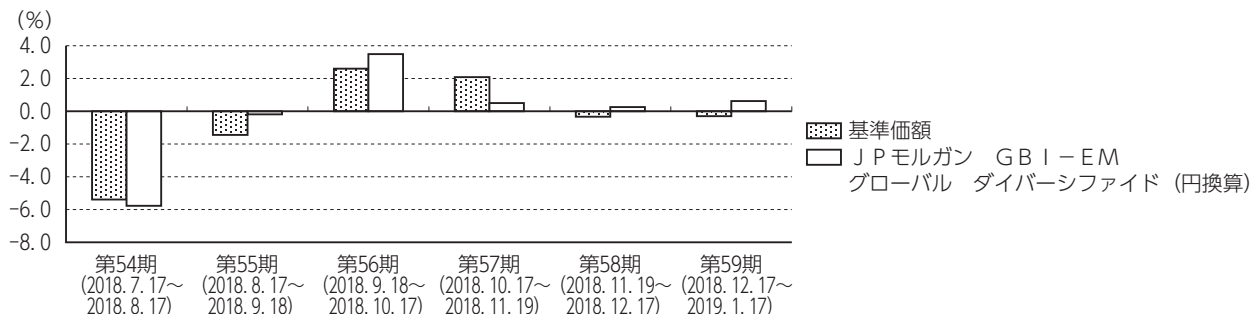
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2018年7月18日 ～2018年8月17日	2018年8月18日 ～2018年9月18日	2018年9月19日 ～2018年10月17日	2018年10月18日 ～2018年11月19日	2018年11月20日 ～2018年12月17日	2018年12月18日 ～2019年1月17日
当期分配金(税込み) (円)	55	55	55	40	40	40
対基準価額比率 (%)	1.08	1.10	1.09	0.78	0.79	0.80
当期の収益 (円)	55	55	55	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	54	58	61	85	104	122

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 57.00円	✓ 59.21円	✓ 57.32円	✓ 64.78円	✓ 58.89円	✓ 57.75円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	23.81	23.90	24.00	24.10	24.22	24.38
(d) 分配準備積立金	28.74	30.66	34.79	37.02	61.69	80.42
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	109.56	113.79	116.12	125.91	144.80	162.56
(f) 分配金	55.00	55.00	55.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	54.56	58.79	61.12	85.91	104.80	122.56

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第54期～第59期 (2018. 7. 18～2019. 1. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	30円	0.584%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,059円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0.163)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(21)	(0.408)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.034	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(2)	(0.034)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	31	0.621	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年7月18日から2019年1月17日まで)

決算期	第54期～第59期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 3,265.66258	千円 163,785	千口 7,166.58227	千円 356,286

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年7月18日から2019年1月17日まで)

第54期				～	第59期			
買付		売付		買付		売付		
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価	
EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	千口 179.93682	千円 9,000	円 50	EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	千口 7,166.58227	千円 356,286	円 49	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第59期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS	千口 38,291.48503	千円 1,880,686	% 99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第53期末	第59期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 96	千口 96	千円 97

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年1月17日現在

項目	第59期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 1,880,686	% 97.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	97	0.0
コール・ローン等、その他	51,603	2.7
投資信託財産総額	1,932,387	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年8月17日)、(2018年9月18日)、(2018年10月17日)、(2018年11月19日)、(2018年12月17日)、(2019年1月17日)現在

項目	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末
(A) 資産	2,173,101,012円	2,090,156,971円	2,060,795,358円	2,031,803,870円	1,975,188,386円	1,948,355,781円
コール・ローン等	49,905,510	53,915,683	44,745,515	37,348,461	38,190,788	35,635,508
投資信託受益証券（評価額）	2,123,097,487	2,036,143,283	2,015,951,838	1,994,357,413	1,936,899,612	1,880,686,287
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	98,015	98,005	98,005	97,996	97,986	97,986
未収入金	—	—	—	—	—	31,936,000
(B) 負債	30,445,192	40,244,400	28,586,179	19,603,335	23,105,152	49,605,375
未払金	—	—	—	—	—	15,968,000
未払収益分配金	23,314,375	22,882,632	22,353,275	15,895,401	15,595,127	15,337,896
未払解約金	4,873,485	15,198,510	4,293,426	1,528,303	5,658,472	16,311,885
未払信託報酬	2,241,665	2,132,755	1,895,726	2,120,998	1,780,610	1,903,229
その他未払費用	15,667	30,503	43,752	58,633	70,943	84,365
(C) 純資産総額（A－B）	2,142,655,820	2,049,912,571	2,032,209,179	2,012,200,535	1,952,083,234	1,898,750,406
元本	4,138,977,388	4,160,478,673	4,064,231,956	3,973,850,260	3,898,781,762	3,834,474,106
次期繰越損益金	△ 2,096,321,568	△ 2,110,566,102	△ 2,032,022,777	△ 1,961,649,725	△ 1,946,698,528	△ 1,935,723,700
(D) 受益権総口数	4,238,977,388口	4,160,478,673口	4,064,231,956口	3,973,850,260口	3,898,781,762口	3,834,474,106口
1万口当り基準価額（C/D）	5,055円	4,927円	5,000円	5,064円	5,007円	4,952円

* 第53期末における元本額は4,275,100,546円、当作成期間（第54期～第59期）中における追加設定元本額は59,235,065円、同解約元本額は499,861,505円です。

* 第59期末の計算口数当りの純資産額は4,952円です。

* 第59期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,935,723,700円です。

■損益の状況

第54期 自 2018年7月18日 至 2018年8月17日 第56期 自 2018年9月19日 至 2018年10月17日 第58期 自 2018年11月20日 至 2018年12月17日

第55期 自 2018年8月18日 至 2018年9月18日 第57期 自 2018年10月18日 至 2018年11月19日 第59期 自 2018年12月18日 至 2019年1月17日

項目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(A) 配当等収益	26,422,056円	26,785,575円	24,153,834円	27,083,973円	24,754,036円	24,063,837円
受取配当金	26,423,226	26,787,015	24,154,990	27,085,390	24,755,170	24,064,918
受取利息	1	9	6	7	2	—
支払利息	△ 1,171	△ 1,449	△ 1,162	△ 1,424	△ 1,136	△ 1,081
(B) 有価証券売買損益	△ 147,556,219	△ 54,811,344	29,823,725	16,130,313	△ 29,471,626	△ 27,941,220
売買益	585,102	1,222,386	30,309,410	16,254,921	265,046	715,146
売買損	△ 148,141,321	△ 56,033,730	△ 485,685	△ 124,608	△ 29,736,672	△ 28,656,366
(C) 信託報酬等	△ 2,257,614	△ 2,147,648	△ 1,908,993	△ 2,135,945	△ 1,793,102	△ 1,916,878
(D) 当期損益金（A+B+C）	△ 123,391,777	△ 30,173,417	52,068,566	41,078,341	△ 6,510,692	△ 5,794,261
(E) 前期繰越損益金	△ 1,816,556,559	△ 1,921,219,373	△ 1,923,646,661	△ 1,847,037,012	△ 1,783,983,875	△ 1,772,705,618
(F) 追加信託差損益金	△ 133,058,857	△ 136,290,680	△ 138,091,407	△ 139,795,653	△ 140,608,834	△ 141,885,925
（配当等相当額）	（ 10,095,761）	（ 9,947,424）	（ 9,755,469）	（ 9,577,680）	（ 9,444,142）	（ 9,351,934）
（売買損益相当額）	（△ 143,154,618）	（△ 146,238,104）	（△ 147,846,876）	（△ 149,373,333）	（△ 150,052,976）	（△ 151,237,859）
(G) 合計（D+E+F）	△ 2,073,007,193	△ 2,087,683,470	△ 2,009,669,502	△ 1,945,754,324	△ 1,931,103,401	△ 1,920,385,804
(H) 収益分配金	△ 23,314,375	△ 22,882,632	△ 22,353,275	△ 15,895,401	△ 15,595,127	△ 15,337,896
次期繰越損益金（G+H）	△ 2,096,321,568	△ 2,110,566,102	△ 2,032,022,777	△ 1,961,649,725	△ 1,946,698,528	△ 1,935,723,700
追加信託差損益金	△ 133,058,857	△ 136,290,680	△ 138,091,407	△ 139,795,653	△ 140,608,834	△ 141,885,925
（配当等相当額）	（ 10,095,761）	（ 9,947,424）	（ 9,755,469）	（ 9,577,680）	（ 9,444,142）	（ 9,351,934）
（売買損益相当額）	（△ 143,154,618）	（△ 146,238,104）	（△ 147,846,876）	（△ 149,373,333）	（△ 150,052,976）	（△ 151,237,859）
分配準備積立金	13,035,910	14,512,037	15,086,171	24,562,606	31,417,837	37,646,164
繰越損益金	△ 1,976,298,621	△ 1,988,787,459	△ 1,909,017,541	△ 1,846,416,678	△ 1,837,507,531	△ 1,831,483,939

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	24,164,441円	24,637,923円	23,299,559円	25,745,374円	22,960,930円	22,146,957円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	10,095,761	9,947,424	9,755,469	9,577,680	9,444,142	9,351,934
(d) 分配準備積立金	12,185,844	12,756,746	14,139,887	14,712,633	24,052,034	30,837,103
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	46,446,046	47,342,093	47,194,915	50,035,687	56,457,106	62,335,994
(f) 分配金	23,314,375	22,882,632	22,353,275	15,895,401	15,595,127	15,337,896
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	23,131,671	24,459,461	24,841,640	34,140,286	40,861,979	46,998,098
(h) 受益権総口数	4,238,977,388口	4,160,478,673口	4,064,231,956口	3,973,850,260口	3,898,781,762口	3,834,474,106口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
		55円	55円	55円	40円	40円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド
資産成長クラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド 資産成長クラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年1月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

財政状態計算書
2018年5月31日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	\$	29,377,778
現金および現金同等物		920,808
未収：		
利息		429,708
売却済み証券		294
資産合計		30,728,588

負債

金融負債（損益通算後の評価額）	40,254
未払：	
受益証券の買戻し	55,225
保管会社報酬	50,675
管理会社報酬	21,464
専門家報酬	18,849
報酬代行会社報酬	9,678
副投資運用会社報酬	7,994
受託会社報酬	2,207
名義書換代理人報酬	17
負債（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）	206,363
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	\$ 30,522,225

包括利益計算書

2018年5月31日に終了した年度

収益	
受取利息	\$ 2,544,689
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による純実現損失	(561,991)
外国為替取引による純実現益	16,485
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価（損）/益の純変動	(879,198)
外国為替換算による評価（損）/益の純変動	(44,645)
収益合計	<u>1,075,340</u>
費用	
副投資運用会社報酬	117,543
保管会社報酬	102,378
報酬代行会社報酬	69,954
管理会社報酬	45,001
専門家報酬	18,300
受託会社報酬	18,093
名義書換代理人報酬	3,918
登録料	767
費用合計	<u>375,954</u>
金融費用控除前営業利益	<u>699,386</u>
金融費用	
償却可能受益証券の保有者への分配金	(4,574,842)
金融費用合計	<u>(4,574,842)</u>
分配後および税引前損失	<u>(3,875,456)</u>
源泉徴収税	(157,512)
運用の結果生じた償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少額	<u>\$ (4,032,968)</u>

投資明細表
2018年5月31日

債券

ブラジル

NOTA DO TESO 10% 01/01/21/BRL/

\$ 3,088,024.81

ブラジル計

3,088,024.81

インドネシア

INDONESIA 8.375% 09/15/26/IDR/

921,703.63

INDONESIA 7.875% 04/15/19/IDR/

2,541,561.71

インドネシア計

3,463,265.34

メキシコ

PETROLEOS 7.65% 11/24/21/MXN/

2,592,730.71

MEX BONOS 4.75% 06/14/18/MXN/

598,440.97

メキシコ計

3,191,171.68

ペルー

BONOS DE T 7.84% 08/12/20/PEN/

3,311,830.83

ペルー計

3,311,830.83

フィリピン

PHILIPPIN 3.875% 11/22/19/PHP/

2,778,588.35

PHILIPPIN 4.625% 12/04/22/PHP/

644,750.69

フィリピン計

3,423,339.04

ロシア

RUSSIA GOV 8.15% 02/03/27/RUB/

763,232.92

RUSSIA GOVT 6.4% 05/27/20/RUB/

957,381.57

RUSSIA GOVT 6.7% 05/15/19/RUB/

1,604,588.66

ロシア計

3,325,203.15

南アフリカ

REPUBLIC O 10.5% 12/21/26/ZAR/

554,539.28

REPUBLIC O 7.25% 01/15/20/ZAR/

2,126,742.99

南アフリカ計

2,681,282.27

国際機関

IBRD 0.5% 08/02/18/ZAR/

623,955.78

国際機関計

623,955.78

タイ	
THAILAND G 3.65% 12/17/21/THB/	1,655,361.05
THAILAND 3.875% 06/13/19/THB/	1,677,429.98
タイ計	3,332,791.03
トルコ	
TURKEY GOVER 11% 02/24/27/TRY/	318,460.81
TURKEY GOVE 8.8% 11/14/18/TRY/	1,920,021.16
TURKEY GOVERN 8% 03/12/25/TRY/	698,431.94
トルコ計	2,936,913.91
債券計	29,377,777.84

通貨αクラス - 2018年5月31日現在の仕組スワップ契約の残高：(純資産の-0.1%)

戦略	満期日	取引相手	名目元本	評価額
FX Option Overlay	2018/6/5	Credit Suisse International	\$ 22,754,950	\$ (40,254)

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2019年1月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を29ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

（2018年7月18日から2019年1月17日まで）

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
757 国庫短期証券 2018/8/13	千円 400,002		千円

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2019年1月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（69,738,011千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2019年1月17日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,997	% <1.4>

（注1）< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

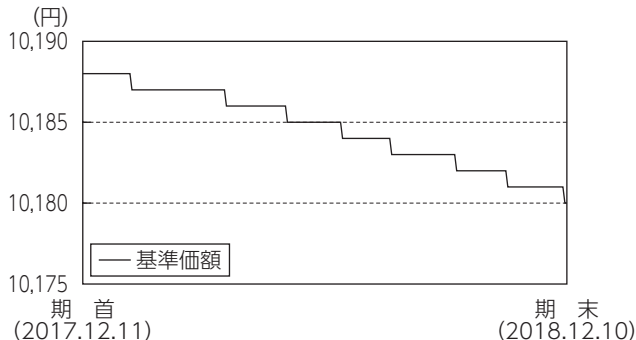
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,188	-	-
12月末	10,188	0.0	-
2018年1月1月末	10,187	△0.0	-
2月末	10,187	△0.0	0.5
3月末	10,186	△0.0	-
4月末	10,186	△0.0	-
5月末	10,185	△0.0	-
6月末	10,184	△0.0	-
7月末	10,184	△0.0	-
8月末	10,183	△0.0	-
9月末	10,182	△0.1	-
10月末	10,181	△0.1	-
11月末	10,181	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,180	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,188円 期末：10,180円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	890,004	(890,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	245,999,587	245,999,594 ()

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当 期		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	400,002		
731 国庫短期証券 2018/7/10	280,000		
723 国庫短期証券 2018/3/5	210,001		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	80,270,040	100.0
投資信託財産総額	80,270,040	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	80,270,040,211円	
コール・ローン等	79,270,042,938	
現先取引(その他有価証券)	999,997,273	
(B) 負債	241,522,286	
未払解約金	240,343,000	
その他未払費用	1,179,286	
(C) 純資産総額(A - B)	80,028,517,925	
元本	78,610,288,449	
次期繰越損益金	1,418,229,476	
(D) 受益権総口数	78,610,288,449口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,180円	

* 期首における元本額は68,390,547,168円、当作成期間中における追加設定元本額は259,276,972,092円、同解約元本額は249,057,230,811円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワF Eグローバル・バリュ- (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワF Eグローバル・バリュ- (為替ヘッジなし) 98,069円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/ "R I C I"*

コモディティ・ファンド5,024,392円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、スマート・アロケーション・Dガード53,768,983円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンド -ハジメの歩- 327,110,605円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ3,941,012,171円、ダイワファンドクラブ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パラダイムシフト- 9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 13,743,005,794円、プルベア・マネー・ポートフォリオV 18,757,636,566円、プル3倍日本株ポートフォリオV 39,796,042,643円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 1,364,716,363円、ダイワF Eグローバル・バリュ-株ファンド (ダイワSMA専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ121,376,415円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり) 145,491,182円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 米ドルコース285,029円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 日本円コース144,570円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 通貨αコース677,850円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,747,902円、D Cスマート・アロケーション・Dガード4,510,003円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,180円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 53,286,101円
受取利息	18,213
支払利息	△ 53,304,314
(B) その他費用	△ 8,395,849
(C) 当期損益金(A + B)	△ 61,681,950
(D) 前期繰越損益金	1,286,098,991
(E) 解約差損益金	△4,593,187,480
(F) 追加信託差損益金	4,786,999,915
(G) 合計(C + D + E + F)	1,418,229,476
次期繰越損益金(G)	1,418,229,476

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。